

2021年2月16日発行

事務所 武石地域自治センター内

TEL:0268-85-3667

<https://www.s-takeshi.jp>

印刷 中澤印刷株式会社



さあ 初滑り!



▲台風19号災害で埋まったリフト乗り場と運転小屋

れリフト乗り場や運転小屋にも沢から土砂が押し出したりスノーマシンの取水施設が破損するなど大変大きな被害が出ました。昨シーズンは営業できず今シーズンも当初は再開は難しいと考えられていましたが、整備復旧が進み、土砂が押し出した沢には県による砂防堰堤の建設も行われて、スキー場開きができるまでになりました。

この日は、肌を刺す寒さの中で上田市市長、議長、地域振興事業団理事長、地元スキー関係者などが出席し、神事後無料開放されたリフトに乗り大勢の利用者が初滑りを楽しんでいました。ただ残念ながらコロナ禍で、武石少年自然の家泊で例年行われている練馬区中学生のスキー教室は、今年も行われな

いとのことです。復旧は約8000万円の事業費(他に県により砂防堰堤工事)で行われ、練馬区や練馬区職員からの寄付の一部も充当されました。

スキー場再開

昨年12月26日(土)、武石番所ヶ原スキー場開きが行われました。

一昨年の台風19号では、大雨でゲレンデが削ら

総合センター 3月29日開所

12月9日(水)、建設中の武石総合センターの一般向けの見学会が開催されました。

見学会には32名が2班に分かれ参加し、内装までほぼ終わった建物を見学しました。内部には武石財産区から提供されたカラマツ、杉などがふんだんに使用され、やわらかい雰囲気となっています。見学者は、担当者の説明を聞き、その利用について思いを馳せていました。



総合センターの各階の配置

| | |
|----|---|
| 3階 | 大会議室、研修室 |
| 2階 | 公民館事務室、図書室・学習室、第1・第2会議室、多目的室(健康相談など)、調理実習室、社協・地域包括センター事務所 |
| 1階 | 行政事務室(地域振興課、市民生活課、産業建設課)、ホワイエとコミュニティーホール、つくる会事務室等 |

総合センターの建設は2015年度に計画がスタートし、2019年9月に武石公民館の解体工事が始まりました。2020年度はコロナの関係で工事の遅れが心配されましたがこの3月29日(月)に業務が開始できることになりました。これまで別建物だった自治センター、健康センター、公民館、図書館ばかりでなく社協地区センター、住みよい武石をつくる会事務室も入ることになります。

総合センター完成後、現在の自治センターや健康センター、老人センターの建物は2021年度に解体され、2022年度には駐車場や広場などが整備されることになっています。

松食い虫から松茸山を守れ!



薬剤樹幹注入作業

松食い虫による松林の被害は、温暖化の影響もあり徐々に標高の高い地域に拡大してきています。殺虫剤を含む薬剤を注入した松を防波堤にして、その先に被害を拡大させないことがこの作業の目的です。毎年この時期に武石財産区の松林で行われてきたこの作業も今年で5年目となりました。

あと1週間で大寒を迎えようとしている1月13日、早朝マイナス6度まで冷え込む中前日積もった雪と落ち葉に足を取られながら急斜面を登ります。3日間の作業の初日となるこの日は、財産区議員、住みよい武石をつくる会会員、地域協議会委員、森林組合職員、市職員など16名により、下本入地籍の「赤山」と呼ばれる松林で作業を行いました。

市職員からの作業手順の説明に従い、木の太さにより1本につき5本前後の穴をドリルで空け、ボトルに入った薬剤を穴に差し込みます。今回は、約200本の松に薬剤を注入します。今年は作業参加者全員がマスク姿とコロナ禍を反映したスタイルで、松食い虫被害もコロナ感染も1日も早い終息を願いながらの作業となりました。来年度以降も被害状況を見ながら作業の継続が見込まれています。

1月8日武石地区新自治会長会が開かれ、武石自治会長会新会長に伊藤定衛七ヶ自治会長、副には岡村正徳小沢根自治会長が選出されました。

たけし 歴史さんぽ道

あきないにもつ 武石峠越え商荷物、 差し止め!

郷土史家 児玉卓文

元文元年(1736)から翌年にかけて、高梨村・辰の口村・長瀬村・島川原村・桜井村(滋野)は、松本藩の御城米を三才山峠越えの「村継ぎ」で小諸本町への輸送を計画し、松本町の問屋と結んで松本藩役所に願い出ます。元文5年には、御城米ではありませんが藩の公用荷物の輸送許可が出ました。

元文6年(1741)松本藩は、岡田宿・保福寺宿・浦野宿に、御城米を武石峠・三才山峠越えて輸送したいが差しさわりがあるか尋ねます。三宿は、御城米をそのルートで送られたら、商業荷物も通行することになり、私どもは収入がなくなり公用の仕事を務められなくなりすると反対します。しかし、翌年三才山峠越えて御城米の輸送が始まりました。

武石峠越えはどうなったのでしょうか?・・・武石村の庄屋の市郎右衛門・文右衛門や総百姓代の利兵衛・市右衛門らが松本藩の役人に提出、武石峠の「ふな小場」で御城米を荷継ぎして指定の場所まで輸送する宝暦5年(1755)の証文があるので、武石峠越えの輸送も行われました。三才山

峠越えとは違い、武石郷で受けて、長窪古町から大内道(依田窪病院から登る道)を通して芦田宿へ一気に運ぶ「付け送り」のようです。「峠のふな小場」とはどこでしょう?(知っている方は教えてください)。

藩が御城米という公的な物資の輸送に武石通りを使うのですから、武石峠越えの道は整備されていたと思われます。武石村には駄賃かせぎの、松本藩には安く早く輸送できるメリットがあり、藩は武石通りを公的な往還にしていこうとしているようにも思えます。



松本の桐原から武石峠へのルート(「桐原城址」より)

一方、岡田・保福寺・浦野の三宿が心配したとおり、武石峠越えの商業荷物輸送は増えました。三宿は明和元年(1764)、武石峠越えの商業荷物の通行差し止めを松本藩役所に訴え出ます。が、役所は手を打ちません。天明7年(1787)にも、商品荷物の松本街道輸送を荷物問屋や馬士(運送屋)に徹底するように松本藩役所に訴えますが、役所は動きません。宿場側は武石峠道・三才山峠道に見回り役を置いて荷物の差し押さえをしたりしますが、両峠越えの輸送は止まりません。

寛政3年(1791)三宿は、松本藩が取り締まりをしないならば、関係する北国街道と中山道の17宿連名で江戸の道中奉行に訴え出るとせまります。藩はようやく松本城下町の荷物問屋に禁止命令を出しました。しかし、一方で長窪古町からは、武石道の諸荷物の通行をこれまでどおりとの願いも出されてきます。

次号につづく



「桐原古図(写)」 左上に「慶長四年(1599)六月」とあるが、享保年間に麓村の山の境界争いの際に作成された可能性が高い(「桐原城址」より)

武石を盛り上げる
人やグループ紹介

武石の人 団体



グループホーム沖 宅老所・老人ホーム遊子舎



NPO法人 ライフケア信州
代表理事 中井 孝幸さん

武石沖で、「グループホーム沖」、「宅老所遊子舎」、「有料老人ホーム遊子舎」などを運営するNPO法人ライフケア信州取材しました。

ライフケア信州は、約20年前に「長野21世紀ケア研究会(任意団体)」として発足したのが始まりで、地域高齢者の「生活の質」を高めることを目的に介護職員を対象とした研修会を開催していました。この研修会に参加した有志5人により平成15年10月に「NPO法人ライフケア信州」を設立、翌平成16年に「宅老所腰越」を開設して通所介護(デイサービス)事業を始めました。その後も、在宅生活を支える訪問介護や、終の棲家としてのグループホーム、住まいとしての老人ホームなどの介護事業を展開しています。

現在、武石、腰越など上田市内に全8事業所(注参照)を開設、全体で約40名の従業員が働き、約80名の利用者がいるとの事です。「時代と共に、介護に対する高齢者やその家族、地域からのニーズも多様化し、そのニーズに合った事業展開をしてきました。これからも、ますます介護メニューの多様化が求められています」と代表の中井さんは話していました。

ライフケア信州の特徴は、各々の事業所が小規模である事です。「一人一人の生活に合ったきめ細かなサービスができることが小規模の長所であり、これはNPO法人を設立して介護事業を始めた時の主旨でもあります」との事です。

昨年からはリハビリのメニューを強化、沖の宅老所遊子舎の附属施設「パルノス」にトレーニング機器を導入しました。宅老所に通って来る人や老人ホームの入所者を対象にしていますが、「今後は一般の高齢者の方々にも



トレーニング機器

利用できるようにして、地域の活動の場にしたい」と話していました。

今はコロナ禍の中で対策をしっかりして、とにかく感染しないよう日々奮闘されています。コロナがいつ終息するかわかりませんが、コロナ後でも、「自宅にこもっている間に体力、筋力の衰えが心配です。コロナが終わったらぜひ施設に寄ってもらって、トレーニングで体力を付けましょう」、「介護に関してお困りや相談事があれば、お気軽にお寄りください」との事です。

＜相談、連絡先＞

電話 0268-43-8808 宅老所腰越庵 中井さんまで

(注) 武石地域以外の事業所

- ・宅老所腰越庵(丸子腰越)
- ・有料老人ホーム腰越(丸子腰越)
- ・ヘルパーステーションこしごえ(丸子腰越)
- ・宅老所長瀬庵(丸子長瀬)
- ・リハビリ特化型デイワラ福(上田常田)

お知らせ

地域のトピックを募集します

地域の行事や自然風景など、広報で武石地域の皆さんにお知らせしたいものがありましたら、事務局(TEL 85-3667)までご連絡ください。

